

岡山市区づくり推進事業助成申込書 (案)



(地域活動部門)

令和 3 年 1 月 18 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒラジマケンコウフクシイインカイ
 団体名 平島健康福祉委員会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㉠ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ ㊤ 継続 6 回目 / 【平成 28 年度から】
課題	① 地域で支え合う仕組み作りを更に強固なものにするために後継者の醸成を図ること ② 事業内容の充実とネットワーク拡大のために近隣学区との連携強化を図ること

事業の目的	平島学区において今後更に進むことであろう少子高齢社会に向け、高齢者が元気で自立した生活を送ることができ、老若男女が一緒になって自助・互助の考え方を理念に、地域で支え合う仕組み作りを構築していくために。 ・ 平島学区に住む高齢者などの健康と福祉に寄与すること。 ・ 多世代が交流することで将来に向け地域全体で支え合うまちづくりを醸成していくこと。
事業の内容・感染防止対策の内容	① <u>高齢者が困ったときにお手伝いができる“生活支援サービス”の実施</u> 既成の制度ではまかなえないようなちょっとした生活援助を、有償ボランティア方式（100円チケット1枚で約10分間）により、サービスを提供するシステム。 ② <u>高齢者が歩いて行ける所で交流ができるように“井戸端カフェ”の開催</u> ・ 井戸端カフェ東平島は第2土曜日、井戸端カフェ南古都は第4土曜日、いずれも10時～12時開催。誰でも気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら交流を図ることができる場所。 ③ <u>高齢者の健康づくりや多世代が交流できるように“HKF研修会”及び“ふれあいサタデー”の開催</u> “HKF研修会”は健康や医療や介護・福祉について理解を深める場であり、年4回開催。“ふれあいサタデー・元気で輝き体操”はフレイル予防のために、あつ晴れ！もも太郎体操や脳トレ、歌などで毎週土曜日10時～11時開催。“三世代交流ふれあいサタデー”は老若男女が集うことで、地域を知り、顔の見える関係づくりから支え合いの輪を広げられるよう。年1～2回開催予定。 ④ <u>地域の情報共有化のために“HKFニュース”の発行</u> 地域イベントや耳より情報などを掲載したニュースを年2～3回全戸に配布。 ⑤ <u>高齢者の課題について話し合う場“平島小地域ケア会議”の企画運営</u> 学区内の高齢者の課題やその対策について話し合う場で、地域の関係団体の主要メンバー約20名で構成。3か月毎に開催。 ⑥ <u>実施する各活動において感染防止対策</u> ・ ①の支援サービスのための訪問者はマスク装備で手指の洗浄や消毒の徹底。 ・ ②③⑤では会場設備の消毒および換気。参加者の健康チェック、マスク装備で手指の洗浄や消毒の徹底でコロナ感染予防を行う。
期待される成果・目標	・ コロナ禍においても本事業の推進により“支え合いのまちづくり”を実現すること。結果として住民の皆さんに安心して住める地域だと実感していただき、住み続けてもらうこと。また、多世代のふれあいによりコミュニティの輪が拡大すること。 ・ 高齢者が介護予防によって健康寿命を延ばすことができ、一人でも多くの方が元気で輝きながら、地域とつながり、社会参加や活動が出来ること。 ・ 本会の「自助・互助の理念」が地域に浸透し、地域住民のつながりがさらに深まるよう、その環境づくりのために本事業を継続して行うこと。

企画などの工夫	・定例会議や他団体との交流に ZOOM を活用。 ・“HKF 研修会”の開催については、3 年前より平島コミュニティだけでの開催ではなく、単一町内会の集会場へも出前研修を実施しているが、好評のため今後も継続の予定。 ・“ふれあいサタデイ・元気で輝き体操”は導入して 3 年目を迎え、参加者も徐々に増えている。今後は内容に工夫を凝らし、高齢者だけでなく熟年層へも広がるよう、魅力のあるものを企画していく予定。 ・平島小地域ケア会議では「会員の資質向上」と、事例を通して「10 年先 20 年先の予測」をしながら、起こるであろう課題解決のために、先取り対策を話し合っていきたいと考えている。 ・視察研修では市内の他学区との意見交流や情報交換ができるよう企画していく予定である。
協働する団体等	・基本的には平島安全安心ネットワークに所属する各団体（24 団体）と、ケースバイケースで協働しながら活動を行っていく。 ・江西学区の“助け合うお母さんの会”と協働して学区を超えた三世代交流を図っていく。
事業の情報公開	・平島学区においては HKF ニュースの全戸への配布。 ・つながる広場や市民の広場への投稿。 ・各町内会、地域センターや公民館、コミュニティセンターへのポスター掲示。 ・今後、平島型地域包括ケアシステムを構築することができれば、インターネット上でホームページを開設し情報を公開していきたい。
学区地区への広がり	・HKF は以前より上道公民館が主催する“地域応援人づくり講座”に協働して支援活動を行って来た。その効果が徐々に出来ており、乗り合いバスの実現や生活支援サービスの導入計画など、具体的に進んでおり今後へ向けても期待されている。 ・昨年、計画していた上道中学校の生徒さんへの、“三世代交流ふれあいサタデイ”のボランティア要請の働きかけは、コロナ禍の影響で実現できなかった。本年は状況を見ながら再チャレンジの予定である。 ・隣接の瀬戸町江西学区とは“助け合うお母さんの会”昨年より交流を開始しており、情報交換会やイベント協力も実施することができた。引き続き本年度も交流を強化しながら協働してイベント活動をしていきたいと考えている。
前年度からの見直し拡充点	・一昨年度は新しい企画“三世代交流ふれあいサタデイ”を試験的に実施してみたが想像以上の成果を得ることができたため、昨年度は本格的に導入することとしたがコロナ禍のためできなかった。状況が許されればプログラム内容に工夫を凝らして、本年度に実施してみたい。 ・視察研修については、昨年度より 3 時間程度でできる、近場での研修を 2 回にわたって行ってみた。結果としては時間や経費効率もよく評価できるものだったため、本年度も引き続き同じように開催する予定である。 ※添付資料参照

次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ウィズコロナに対応しながら、これまで進めている5事業はそのまま継続する。 コロナの状況次第にもよるが、近隣学区との“三世代交流ふれあい・サタデー”の新企画を検討し、是非とも実現させてみたいと考えている。 ②資金の確保について ☐次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（2～3）年後には、行政からの助成金がなくても自己資金で活動ができるよう、自立を目指しているが、現状からなかなか難しい状況である。 資金確保の具体的な方策：生活支援チケット券の販売や各事業での参加費の徴収。地域の団体や企業からの協賛金など。
その他PRしたい点	・現在、ZOOM活用による情報交換の場を定期的に行っている。時間をかけてじっくり取り組むことができれば、高齢者の方もZOOMの良さを理解し、受け入れてくれることが判明した。したがって安全安心ネットワークに所属する団体もZOOMが使えるよう、ZOOMを習得するための研修会を適宜開催し啓蒙していく予定。また、ZOOM活用による会場分散型のイベントができないか導入を検討中である。

事業番号 13

事業スケジュール

HKF 令和3年度活動計画

令和3年1月18日

★“ふれあいサタデー・元気で輝き体操”は毎週土曜日10時～11時にコミュニティハウスで開催

月日	場所	内容/担当チーム
4/1～4/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
4月10日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
4月23日	平島コミュニティ	第53回小地域ケア会議
4月24日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/総会
5/1～5/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
5月8日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
5月22日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
6/1～6/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
6月5日	西部公会堂	第30回平島健康福祉研修会
6月12日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
6月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
7/1～7/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
7月10日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
7月24日	平島コミュニティ	第54回小地域ケア会議
7月24日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
8/1～8/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
8月14日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
8月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)
9/1～9/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
9月4日	平島コミュニティ	第31回平島健康福祉研修会
9月11日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
9月12日	平島小学校	敬老会・救護 予定
9月25日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
10/1～10/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
10月9日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
10月22日	平島コミュニティ	第55回小地域ケア会議
10月23日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
11/1～11/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
11月13日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
11月22日	富山学区	視察研修(意見交換会)
11月27日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
12/1～12/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
12月4日	小島の森団地	第32回平島健康福祉研修会
12月11日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
12月25日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
1/1～1/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
1月8日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
1月28日	平島コミュニティ	第56回小地域ケア会議
1月22日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
2/1～2/29	平島学区	生活支援サービス(B班)
2月12日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
2月26日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
3/1～3/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
3月5日	平島コミュニティ	第33回平島健康福祉研修会
3月12日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
3月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)

☆HKF ニュースの発刊は2月に15号、11月に16号を予定してます

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	147,000	197,000	区づくり助成金
実施団体負担金	42,000	42,000	会費
参加者負担金	30,000	30,000	サービスチケット代、カフェ参加費など
協賛金	50,000	50,000	平島振興事業推進協議会他
寄附金、他収入	25,000	25,000	地域企業協賛金など
収入合計	294,000	344,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	20,000	コピー用紙、紙コップ代等
②食糧費	40,000	40,000	お茶代
③印刷製本費	30,000	30,000	印刷代
④燃料費	10,000	10,000	支援サービスの提供時のガソリン代
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	60,000	60,000	携帯電話料、切手代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料	30,000	30,000	会場費
⑩原材料費			
⑪委託料	24,000	24,000	ZOOM契約料(2000円×12か月)
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	30,000	研修会時講師謝礼(3000円×10回)
⑭保険料	20,000	20,000	ボランティア保険
⑮旅費	30,000	30,000	視察研修時交通費(2回分)
小計(①)	294,000	294,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費		50,000	アルコール消毒液、マスク、除菌ウェットティッシュ
小計(②)		50,000	
支出合計(①+②)	294,000	344,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	○希望する 希望しない
----------------	----------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

手持ち金に余裕がないため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。